



瀧澤 照廣



A photograph of two men in dark suits standing together in a large, ornate hall. The man on the left is smiling and holding a small glass. The man on the right is also smiling. Behind them is a large Japanese flag and a banner that reads "第13回日本国際経営学会" (The 13th Japanese Association of International Business) and "日本国際経営学会" (Japanese Association of International Business). The hall is filled with other people seated at round tables, suggesting a formal event or conference.

キリマンジャロに行ってきました

60歳からは心を入れ替え趣味にも全力

原田 清



はじめに
皆様、初めまして、82年入社の子力開発部の原田清と申します。私

は60歳の定年の時に、かねてからの趣味の登山でキリマンジャロ行きを決行しました。キリマンジャロは皆様ご存じの通りタンザニアに位置し、2000mのアフリカの最高峰です。当時(2017年8月)を振り返りながら登山の様子を紹介します。

登頂準備

キリマンジャロ入山は必ずガイドをつけなければならぬため、無難に日本語のガイドがつくアルパインツアーに申し込みました。ガイド、現地地のポータ、山小屋の宿泊費、ポータへのチップ、下山後のサファリツアーなどすべて含めて全行程70万円弱です。我々は日本人8人のツアーです。事前に高所順応するよう指導があり、出発前に富士山に二度内一度は富士登山競争)登っておきました。ツアー中に使用するダブルシュラフは現地で準備、着替え等の荷物もポータが運んでくれるというので、私は行動用の35Lの軽ザックと、ポータにお願いする80Lのスタッフバックを持参します。

キリマンジャロ登頂

成田からエチオピア経由でタンザニアのキリマンジャロ国際空港(標高約800m)に着き、登山口近くのロッジまで約2時間のバス移動、ロッジの庭木には子供くらいあるオオトカゲが居座っておりさっそくアフリカ感満載です。

翌朝、約1時間でキリマンジャロ国立公園の標高1,879mのマランゲ



写真1 マランゲゲート

キリマンジャロ登頂ルート

がやってくれます。登山口にはわかりやすい看板があり、最高峰のウフルピーク(標高5,895m)まで34km(19h)と書いてあります(写真1)。私たちは、登り4泊、下り1泊の計山小屋5泊6日でアタックします。

初日は樹木の中を進みます。途中2、3泊目のホロンボハット(標高2,700m)では連泊し、近くのゼブラロック(標高4,150m)まで日帰りハイキングで高所順応です。この辺から富士山を超える標高なので日本人ガイド

の厳しい指導が入ってきます。毎朝、現地ガイドが洗面用に洗面器にぬるま湯を入れて山小屋まで運んでくれますが、私はこれで頭を洗いました。そんなことしたら頭が冷えて体調を崩す、すぐに乾かせ!と指導を受けました。それ以降ツアー仲間は下山するまで誰一人頭は洗いません。また話をすると呼吸が乱れるので黙って歩けという指導です。ツアー仲間はそれをきちんと守ります。が、現地ガイドの人はそんなことが構いなしなので、私も気を許し、4000mを過ぎてても

地の方と現地の暮らしや日本の紹介などを話すのでガイドに頼まれました。山小屋の食事は、現地食事係の方が先に山小屋に到着し暖かいスープなどを作ってくださいます(写真2)。



写真2 ガイドたちと食事

4日目は森林限界を超えた気持ちの良いルートです。残念ながらラピークには雲がかかっていましたが、ずっとキリマンジャロが私たちを見下ろしています(写真3)。10kmの工程ですが高所のためかなりゆっくりと登り最後の山小屋キボハット(2700m)に到着したのは夕方でした。ここで4時間ほど仮眠して暗いうちにアタックです。しばらく富士山の砂走のようなところを約1,000m登ります。

一番つらいところとで登頂断念の方も出てきます。尾根のギルマンズポイントからウルフピークまでは歩きやすい道ですが、さすがに半分寝起きのような気分です。山頂で大はしゃぎした後(写真4)、下山は高速です。下るにつれて体調がよくなってくるので登りの半分の時間で下山できます。

あとがき

チャレンジして本当によかった登山でした。この年以降も元気なうちに好きなことをやろうと心に決め、今年も年1、2回はしっかり自分のために楽しんでいきます。皆様も一歩踏み出してみてはどうでしょうか。

原田 清氏 連絡先
319-1417 日立市かみあへ町2-8-4
harada.kiyoshi@icloud.com



写真4 頂上到着



写真3 キリマンジャロへの道

リレー随筆（92）

DHME OB 会@大連

原 孝司



今年5月の連休中に、中国・大連にあった現地法人大連日立機械設備有限公司(DHME)のOB会参加のために、5年ぶりに大連に行ってきました。

DHMEは中国の原子力PJ秦山Ⅲ期向けの復水器などのタービン補機の製造を目的として、1997年に甘井子に国営523廠と日立との製造合弁会社として設立されました。2001年以降は独自に中国国内の石化製品や原子力製品の市場に参入でき、2005年には独資化となりました。その後2012年頃には甘井子工場の他、金州分工場と三十里堡新工場を擁するまでになりましたが、中国経済の減速に伴い、2015年の金州分工場閉鎖、2017年の甘井子工場閉鎖に続き、最終的には2018年に三十里堡の新工場も閉鎖し、今年3月に会社清算も完了しました。

このDHME会社清算完了の節目に、ちょうどビザなしでの中国渡航が可能になったことから、大連でのOB会を計画しました。OB会は5月4日朝から第1部(午前)旧甘井子工場と旧三十里堡工場の見学、第2部(午後)旅順と大連市内観光、第3部(夜)中国人元幹部社員との懇親会の3部構成で行いました。甘井子工場は売却先の分工場となり、隣接地には華能電力の発電所と海浜公園ができ、すっかり様変わりしていました。また大連の中心部と甘井子をつなぐ海底トンネルが開通し、市内から甘井子への移動が大変便利になっていましたが、三十里堡工場はがらんどろ状態、周辺も空

き地だらけのままで、少々寂しい風景でした。夜の懇親会には日本から8名、中国人元幹部、従業員20名が参加し、久方ぶりの白酒の乾杯は食道が焼けましたが、往時同様、大変盛り上がり、また数年後に大連でOB会をやるということになりました。



DHME OB 会に集まったメンバー

大連はかつて北方の香港と呼ばれた遼寧半島の港湾商業都市で、40年間の日本統治の歴史を物語る大連駅、関東州庁舎、ヤマトホテル、満鉄本社等日本統治時代の建造物が現役で使われ、日本に親近感を持つ人も多い、中国では特殊な都市でした。また大きすぎず、小さすぎない適度な大きさで、日本語が通じ、日本人向けのホテル、料理店、カラオケ等も数多く、日本人にとって一番生活し易い都市でした。今回5年ぶりに来てみると、街並み自体大きな変化はないのですが、以前の大連の空気とは何か違う、居心地の悪さを感じました。それは5年の歳月もありますが、日本の存在感が薄れてしまっていることでした。大連居留者、出張や観光に来る日本人も激減してしまえば、それもやむなしでしょうが、寂しい限りです。

支部からの お知らせ

日立社友クラブ理事会・茨城支部役員会報告

*第74期第4回日立社友クラブ理事会報告

- ・9月4日に開催された。
 - ・本部会員総数は7,391名(前年同期比74名増)。
 - ・今年度の社友クラブ総会は10月3日(金)にホテルニューオオタニにて実施することになった。
- 第75回を記念して、「高尾家寄贈アルバムより、総会の歴史を見る」など特別展示を行う予定。

*2025年9月茨城支部役員会報告

- ・9月18日(木)大みか拠点にて実施した。
- ・支部入会申込者6名の入会が承認され、会員数は846名となった(前年比27名減)。
- ・支部便りの会員による地域配達を廃止し、これまで配達した会員へは、今号より郵送にてお届けする。

支部便り発行回数改定のお知らせ

支部運営の財政健全化、編集作業の負担軽減等を目的に、発行回数年4回を今年度から年2回(4月・10月発行)としました。なお、同好会活動報告などの記事は4月号でまとめて報告しますので、何卒ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

年会費納入お忘れの方へお願い

会費(同好会費含む)の納入をお忘れの方には、個別に振込用紙を同封しますので、納入くださるようお願いいたします。

「会員投稿」、「リレー随筆」執筆者募集

支部便りの「会員投稿」、「リレー随筆」の執筆者を募集しています。自薦、他薦は問いません。執筆者候補を中村浩三(kozo@nakamura.email.ne.jp)まで連絡をお願いします。

訃 報 誠に残念ですが、苦楽を共にした次の方がお亡くなりになりました。

大平 光生	令和06年06月27日	満86歳
小笠原三留	令和06年10月15日	満84歳
鎌田 譲	令和06年11月04日	満87歳
益富 文男	令和06年11月09日	満95歳
植西 晃	令和06年12月12日	満91歳
三木 實	令和07年02月17日	満98歳
大林 俊光	令和07年02月18日	満84歳
大竹 三雄	令和07年04月15日	満86歳
山崎 晋資	令和07年04月25日	満95歳
三澤 通宏	令和07年06月02日	満87歳
高橋 健躬	令和07年06月08日	満83歳
嶋原 奉文	令和07年07月09日	満82歳
河合 彰	令和07年07月21日	満79歳
吉田 勲	令和07年07月28日	満85歳
奥村 清	令和07年09月10日	満72歳
神谷 宏之	令和07年09月16日	満82歳

同好会の行事ご案内(11月～R8/4月)

1. 第94回研修会

【那須・大田原地方の歴史探訪】

那須地方は全国でも有数の古墳の密集地である。大田原市にある全国で7番目に大きい前方後円墳である侍塚古墳群、国宝「那須国造碑」をご神体として祀られている笠石神社、重要文化財の那須神社、なす風土記の丘湯津上資料館などを参拝、見学します。

- ・開催日：令和7年11月19日(水)
- ・集合：大みか駅前(東口) 8:00
日立南ドライブイン 8:15
- ・帰着：大みか駅前(東口) 17:00頃の予定
- ・会費：9,000円の予定(バス、昼食代、他)
- ・募集人員：25名(20名以上の参加で実施)
- ・申込締切：10月15日(水)
- ・申込先：石田和夫
- ・Tel/Fax：0294-34-0209 携帯 080-5087-2555
- ・E-mail：ishida.kazuo@nifty.com

2. 歩こう会

第103回歩こう会【里根川から五浦海岸を歩く】

- ・開催日：令和7年11月14日(金)雨天11月21日(金)
- ・集合：大津港駅 午前9時30分
- ・コース：大津港駅を出発し、里根川沿いを歩き、大津漁港を経て五浦岬公園で昼食を取り、五浦美術館まで歩きます。全長5.6km
- ・申込締切：11月7日(金)
- ・申込先：石橋康正
- ・Tel/Fax：0294-37-0439/0294-37-3725
- ・E-mail：yasumasa_ishibashi@ybb.ne.jp

第104回歩こう会【磯部、桜川の山桜散策】

- ・開催日：令和8年4月3日(金)雨天4月10日(金)
- ・集合：水戸線羽黒駅 午前9時40分
- ・コース：羽黒駅を出発して千年の歴史を誇る桜の名所、桜川磯部稲村神社、磯部桜川公園(昼食)他を歩きます。全長6.4km
- ・申込締切：令和8年3月27日(金)
- ・申込先：小野瀬秀夫
- ・Tel/Fax：029-282-4124
- ・E-mail：h1941.0830.onose@tenor.ocn.ne.jp

3. 定例行事予定一覧(開催日・場所・時間などは各グループより、別途茨ネット等により連絡いたします)

グループ名		実施予定日(曜日)						場 所	時 間	備 考
		11月	12月	R8/1月	2月	3月	4月			
野鳥・自然観察グループ		24(月) 小山ダム	15(月) 久慈川河口	12(月) 海浜公園	10(火) 涸沼	9(月) 高戸海岸	27(月) 奥久慈	左記参照。 詳細は茨ネット で連絡。	9:00～ 12:00	雨天中止 参加費：¥300/回
囲碁の会	日立地区	12(水) 26(水) 28(金)	10(水) 大会 19(金) 24(水)	14(水) 23(金) 28(水)	25(水) 27(金)	11(水) 大会 25(水) 27(金)	8(水) 22(水) 24(金)	大みか拠点	9:30～ 16:00	参加費：¥100/回、 大会：¥1500 (昼食費含む)
	勝田地区	20(木)	18(木)	15(木) 大会	19(木)	26(木)	16(木) 大会	大島コミュニ ティセンター	9:00～	参加費：¥200/回 大会：¥700
料理教室		24(月)	22(月)	26(月)	23(月)	30(月)	27(月)	らぼーる ひたち	9:30～ 12:00	参加費：¥1700/回
卓球クラブ		5, 12, 19(水)	3, 10, 17(水)	7, 14, 21(水)	4, 11, 18(水)	4, 11, 18(水)	1, 8, 15(水)	会瀬体育館	9:00～ 12:00	参加費、会場費等 年会費：¥6000/年
デジカメ		4(火)	2(火)	6(火)	3(火)	3(火)	7(火)	大みか拠点	10:00～ 15:00	参加費：¥1000/回 昼食費含む
写真五七五		7(金)	5(金)	9(金)	6(金)	6(金)	3(金)	大みか拠点	9:30～ 13:00	参加費：¥300/回 昼食別途
勝田パソコン		25(火)	23(火)	27(火)	24(火)	24(火)	28(火)	ひたちなか市 ワークプラザ	13:15～ 16:00	参加費：¥500/回

注1) 旅行会(連絡先：溝口忠憲)は開催が不定期なので、茨ネットを通じて開催をご案内しています。

注2) 各グループの連絡先：野鳥・自然観察(古林克己：0294-43-7225)、囲碁(真鳥岩男：0294-74-5285、七海清：029-273-8450)、料理教室(並木慎一郎：029-283-1476)、卓球(宮原養治侶：0294-53-6147)、デジカメ(溝口忠憲：029-219-6576)、写真五七五(細江徹：0294-42-9126)、勝田パソコン(佐々木六漏：029-275-2567)

第21回デジカメ写真展のご案内

デジカメクラブ、写真五七五グループ、野鳥・自然観察グループ合同の写真展を下記の日時、場所にて開催します。四季折々の風景や風物詩写真、一枚の写真から連想される句を添えた作品、県内外で観察された野鳥の写真など、多数展示されます。

- ・日時：11月9日(日)～11月13日(木)
9:00～17:00(9日は13:00から、13日は15:00まで)
- ・場所：多賀市民プラザ 1階ギャラリー
メンバー同、多数の皆さまのご来場をお待ちしています。

編集後記 茨城支部便りの発行を本年度から年2回(4, 10月)に変えました。半年分の同好会行事案内の掲載などで従来同様会員の同好会活動に資する情報提供に努めます。

本号では、原田様から「趣味にも全力！」にと取り組んでおられる体験記事と「一步踏み出して楽しんで!!」の提言をいただいています。原様からは「大連DHMEのOB会」参加報告を通じて社会の変化を伝えていて、主体的な社会参加の重要性を実感させられています。

瀧澤 照廣